

調査票情報のオンライン利用

利用要件

- 学術研究の発展に資する統計の作成等を行う者(学術研究目的)
- 高等教育の発展に資する統計の作成等を行う者(高等教育目的)

留意事項

- 事務量に応じた手数料が必要です。(1時間までごとに4,400円)
- オンライン施設内で自由にデータが使えますが、集計結果を施設外へ持ち出すためには審査が必要です。
- 統計法に基づき、利用者の氏名、所属や研究成果・教育・事業の内容が公表されます。

<https://www.e-stat.go.jp/microdata/data-use/on-site/>

オーダーメイド集計

利用要件

- 研究の発展に資すると認められる統計の作成等であること(研究目的)
- 教育の発展に資すると認められる統計の作成等(教育目的)
- 特定公共分野に関する統計の作成等(デジタル社会形成統計利活用事業目的※)

留意事項

- 集計の工数に応じた手数料が必要です。(1時間までごとに4,400円+送料等)
- 調査ごとに定められた集計の仕様の範囲内で集計します。
- 統計法に基づき、利用者の氏名、所属や研究成果・教育・事業の内容が公表されます。

<https://www.nstac.go.jp/use/archives/order/>

匿名データの利用

利用要件

- 学術研究の発展に資すると認められる統計の作成等に利用されること(学術研究目的)
- 教育の発展に資すると認められる統計の作成等(教育目的)
- 国際社会における我が国の利益の増進及び国際経済社会の健全な発展に資すると認められる統計の作成等(国際比較統計利活用事業目的)
- 特定公共分野に関する統計の作成等(デジタル社会形成統計利活用事業目的※)

留意事項

- 手数料が必要です。(請求1件につき1,950円+1ファイルにつき4,450円+送料等)
- 匿名データの提供を受けた者には当該データの適正管理義務が課され、利用終了後は統計センターへ返却する必要があります。
- 統計法に基づき、利用者の氏名、所属や研究成果・教育・事業の内容が公表されます。

<https://www.nstac.go.jp/use/archives/anonymity/>

※ デジタル社会形成統計利活用事業目的では、現在「健康・医療・介護」、「教育」、「防災」、「こども」、「モビリティ」、「農林水産業・食関連産業」、「港湾(港湾物流分野)」、「インフラ」、「取引(受発注・請求・決済)」、「スマートシティ」の10分野が指定されています。(令和4年(2022年)6月7日閣議決定)

一般用マイクロデータの利用

※ 統計におけるオープンデータの高度化の一環として、利用制限を設けず、大学・高等学校等における統計教育やデータサイエンスの学習用データ、システム検証用データ等として利活用可能なデータの提供を行っています(無償)。

<https://www.nstac.go.jp/use/archives/ippan-microdata/>

統計センターが提供する各サービスの利用手続きなどは、統計センターホームページ(<https://www.nstac.go.jp/>)の上部メニュー「統計を活かす」から選択・参照することができます

オンライン施設詳細情報

<https://www.e-stat.go.jp/microdata/data-use/on-site-facilities/>

オンライン施設

(令和5年7月10日時点)



オンライン施設の利用については、各施設にお問い合わせください
※印の施設は、サテライト機関として匿名データの提供も行っています

マイクロデータ利用ポータルサイト(miripo)の紹介

公的統計のマイクロデータ利用ポータルサイト(miripo)は、統計調査結果の公的統計マイクロデータ(統計調査の調査票情報)をより広く活用いただくためのサイトです。

マイクロデータの利用に関する制度の概要や具体的な手続の他、各府省の利用可能なデータ一覧、などをご覧いただくことができます。

また、統計法に規定されている『利用者の氏名、所属や研究成果・教育・事業の内容』は、すべてmiripoで公表されており、**利用実績や活用事例等**をご覧いただくことができます。

(令和5年7月末日時点で、調査票情報の利用(オンライン利用以外を含む)が757件、オーダーメイド集計の利用が101件、匿名データの利用が127件の利用実績が掲載されています)



マイクロデータ利用ポータルサイト(miripo) <https://www.e-stat.go.jp/microdata/>

統計センターが提供する各サービスの問い合わせ先

調査票情報のオンライン利用

独立行政法人統計センター オンライン利用受付 相談窓口 e-mail: onsite@nstac.go.jp

オーダーメイド集計、匿名データの利用

独立行政法人統計センター 統計情報提供課利用審査係、利用相談係 e-mail: nijiryoyu@nstac.go.jp

利用者の声

調査を通して、公的統計の信頼度の高さを改めて感じる事ができました

大変貴重な公的統計の匿名データを若手研究者・大学院生が利用できる環境整備が今後の社会科学の発展にとって重要だと思いました

政府統計の総合窓口(e-Stat)では得ることのできない抽出データをもとに分析を行うことで、これまで知りえなかった新たな知見を得ることができました

これからも色々なデータを拡充してもらえると助かります



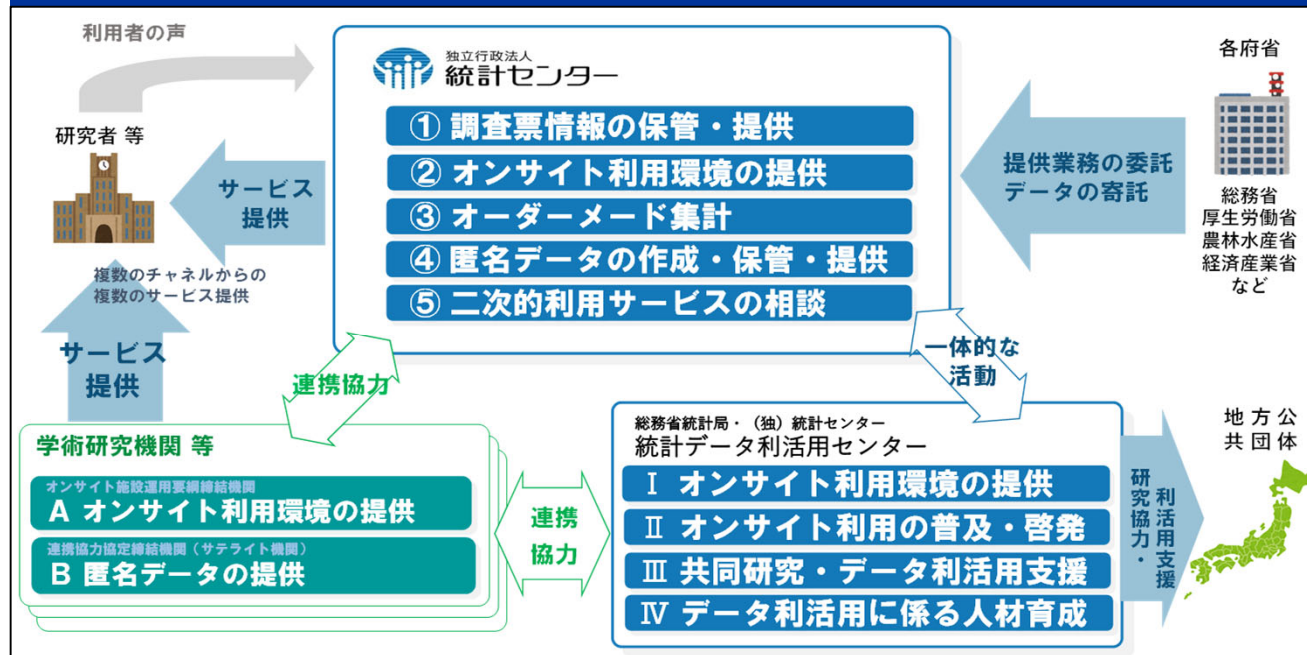
行政の取り組みにEBPMが求められる中、施策や事業を実施する上での基礎データは一層重要になってきていると感じています。その中で、調査票情報を活用することで、今まで見えなかった実態や、感覚として感じていたことの裏付けが得られることが分かりました。

独立行政法人 統計センターにおける取組

統計センターでは、各府省からの委託を受けて、公的統計のマイクロデータ利用サービスを行っています。また、公的統計の利用拡大に係る取組に賛同する法人と、連携協力協定等を締結し、公的統計の二次的利用に関する研究・開発、普及・啓発を推進するほか、これらの法人にサテライト機関の役割を担ってもらい、研究者等に向けた二次的利用のサービスの充実を図っています。

平成30年4月には、総務省統計局と共に先進的な統計データ利活用の推進拠点として、和歌山県に統計データ利活用センターを設置し、オンサイト利用による調査票情報の提供、オンサイト利用の普及・啓発、データ利活用支援等の業務を行っています。

統計センターが提供する公的統計のマイクロデータ利用サービス(概念図)



【ISMS認証登録範囲】
製表に関する管理企画業務、製表業務、委託による統計調査の支援業務、情報システム開発・運用業務、統計データアーカイブ運用業務、政府統計共同利用システムの運用管理業務、技術の調査及び研究に関する業務、統計データ利活用センターの運営業務

《パンフレットに関するお問い合わせ》

独立行政法人統計センター

統計技術・提供部統計情報提供課

TEL: 03-5273-1205 e-mail: h-kikaku@nstac.go.jp

2023.7

独立行政法人 統計センターが提供する 公的統計のマイクロデータ利用サービス

統計センターでは、**三つの公的統計のマイクロデータ利用サービス**を提供しています。

調査票情報のオンサイト利用

各府省の統計調査の調査票情報を、**セキュリティが確保されたオンサイト施設**(統計センターや連携した大学等に設置)でご利用いただけます。
(統計法第33条、同第33条の2に基づく利用)

オーダーメイド集計

各府省の統計調査の調査票情報を用いて、**ご要望に応じて集計した結果の提供**が受けられます。
(統計法第34条に基づく利用)

匿名データの利用

各府省の統計調査の匿名データ(個人や団体等が識別できないよう調査票情報に匿名化措置を施したデータ)が**ご利用**いただけます。
(統計法第36条に基づく利用)

詳細はこちら

統計センター 公的統計の二次的利用サービス

で 検索

<https://www.nstac.go.jp/use/archives/>

